

平成 29 年度

安全研修会「広葉樹等の安全な伐採」実施報告書

千葉県里山林保全整備推進地域協議会

題 名	安全研修会「広葉樹等の安全な伐採」 講義：「安全なかかり木処理とかかり木の未然防止について」 実習：「チェーンソーの始動点検、ワイヤーロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採、」
日 時	平成 29 年 10 月 17 日（火） 10：00～16：00
主 催	千葉県里山林保全整備推進地域協議会
共 催	特定非営利法人ちば里山センター
会 場	千葉県緑化推進委員会 会議室、構内 椎の森里山会フィールド（袖ヶ浦市椎の森地先）
出席者	受講生 14 名・講師 1 名・スタッフ 2 名
内 容	10：00～10：30 講義：「安全なかかり木処理とかかり木の未然防止について」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 10：30～11：15 実習：「チェーンソーの始動と点検」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 12：40～16：00 現地実習「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採」（椎の森里山会フィールド） 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏
報 告	講義：「安全なかかり木処理とかかり木の未然防止について」 ・安全研修会「広葉樹等の安全な伐採」は県内 4 団体 14 名が参加した。 ・午前中は会議室で伐倒の際のかかり木処理について、安全研修の講義を行った。 ・かかり木になったとき、元玉切り、浴びせ倒しの禁じ手を使うことによる林業労働災害が多い。特にベテランに集中している。木村講師は「気持ちを切り替えてワイヤーロープとチルホールを使ったかかり木処理を進めてほしい。」と午前中の講義を結んだ。 実習：「チェーンソーの始動と点検」 ・午後のフィールド実習に向けてチェーンソーの点検、始動を行った。 現地実習「ロープ等を用いた広葉樹等の安全な伐採」（椎の森里山会フィールド） ・今回のフィールドはマテバシイの林。ロープと滑車、チルホールで牽引し伐倒する実習になった。 ・最初の伐倒はかかり木になり、チルホールとロープを 3 回掛けなおし、山側に伐倒した。 ・次に各団体が順番に伐倒を始めた。スローラインでロープを掛け、中間の樹木の幹にスリングロープで滑車を固定し、チルホールにつなげた。受け口から追い口を切り始める際にチルホール側と声を掛け合う。パチパチとツルの千切れる音がして伐倒はかかり木になって止まった。チルホールでけん引して伐倒完了した。 ・樹冠の重さで引っ張られ、倒木が 2 メートルほど飛んだ伐倒作業も見られた。 参加者からの声 ・「水平に切っているつもりでも、思った通りの切り口にならなかった」 ・「予想がつかないところがかかり木になる」 ・「チルホールによるロープ牽引と追い口切りの呼吸を合わせが難しい」 ・「樹冠が重いので、追い口切りの途中で、思わぬ方向に倒れていく。難しい」



木村講師



参加者のみなさん



チェーンソーの始動・点検



木登り具を使ってロープ掛け



ロープにテンションを掛ける



滑車とスリングロープ



チルホール大活躍



スローラインが枝にかかる



追い口切りとロープの張り



受け口切り



伐倒の瞬間、倒木が飛ぶ



全員で切り株を見る